



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さまと協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.26

地域連携病院② 「天満病院」

今回は、平成28年9月に蔵本町に移転開院し、
整形外科・眼科・消化器内科を新設した天満病院を紹介します。

■ 蔵本町に移転開院

天満病院は、名東町で地域のかかりつけ医として根付いておりましたが、昨年9月蔵本町に移転開院しました。

今回の移転では整形外科・眼科・消化器内科を新設し、徳大病院からの急性期後の患者さんを受け入れる体制を整えました。市内の他に、小松島や阿南にも介護施設を運営し、在宅復帰へのサポートをしています。最近では、脳卒中や誤嚥性肺炎による嚥下障害の見られる患者さんに、経鼻内視鏡カメラを用いた嚥下確認のできる装置(VE)を取り入れたリハビリテーションを行っています。VEにより口腔内の動きを確認でき、評価に基づいた訓練を行っています。

加えて、糖尿病治療にも特に力を入れており、院内には専門医をはじめとし、専門の知識を持つ糖尿病療養指導士が20名ほどおり、チームで診察を



↑採光を取り入れた明るい院内

を行っています。糖尿病専門外来も開設し、糖尿病教室を夜間にも行うことで、仕事をお持ちの

患者さんやご家族が参加しやすい環境を整えています。

また、入院病棟は、一般病棟「10:1入院基本料」の届出を行っています。病棟(55床)の内訳は、一般病床15床、地域包括ケア病床26床、特殊疾患病床14床でそれぞれ個室、多床室を有しています。平均で1日17名以上の看護職員が勤務し、快適な入院生活を送っていただけるようケアの提供を行っています。

リハビリ部門は、スタッフも19名と充実しており、患者さんの早期離床に繋がっています。脳血管疾患、運動器、呼吸器のリハビリテーションを中心に、約460平米の広々とした空間で、快適な訓練を行っています。

■ 発達障害児に対するリハビリテーション

天満病院は徳島では数少ない発達障害児に対しての診察を行っている病院です。2歳児から小学校就学前までのお子さんが通院し、言語聴覚士や作業療法士により、遊びや運動を通して感覚に刺激を与える訓練が行われています。



↑リハビリテーションの様子

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

天満病院
徳島県徳島市蔵本町1-5-1
tel.088-632-1520

■ 説明は
(中央)天満仁(てんまじん)医師(グループ代表)、(右)福本礼(ふくもとあや)医師、(左)鶴岡佳奈(つるおかかな)社会福祉士

